

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2772401028		
法人名	医療法人 みどり会		
事業所名	グループホーム たんぽぽ		
所在地	大阪府枚方市長尾北町2-1846-1		
自己評価作成日	令和2年7月26日	評価結果市町村受理日	令和2年10月2日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク福祉調査センター		
所在地	大阪市中央区常盤町2-1-8 FGビル大阪 4階		
訪問調査日	令和2年9月8日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日々の生活の中で、入居者様と職員が共に生活を営むといった環境を作る様配慮している。毎月1回ボランティア様によるさまざまな催しものを開催し、入居者様、家族様、地域の皆様と共に楽しい時間を過ごしております。また、毎月1回併設している介護老人保健施設なごみの里の栄養士によるおやつ作りをしております。施設前にある小さな畑にて野菜作りも取り組んでおり、収穫の際には入居者様全員で収穫祭を行っております。季節毎のイベントの開催 入居者様のお誕生日会も入居者様の好きなものを提供させて頂き、盛大にお祝いしております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平成12年に開設し、2階建ての1.2階部分を1ユニットで運営している。経営母体が医療法人で、同法人の病院、クリニックが協力医療機関となっており、利用者は安心して適切な医療を受けることができている。敷地内には系列施設「なごみの里」(老人保健施設)があり、人事交流から各種マニュアルの作成、研修、地域交流のイベント、停電時の自家発電装置、厨房、入浴(機械浴)使用まで充実した連携をとっている。管理者は、昨年系列の事業所から管理者代理として転動して来られ、その後の人事異動で管理者に就任され、職員の働きやすい環境整備に努め、それが利用者への充実した個別ケアにつながるかと考えている。職員もそれに答えるように利用者との関係を楽しみながら支援を行うことができている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念は、誰にでも目が付く場所に掲示しており、日々の申し送りやスタッフ会議などで、職員に意識付けを行っております。	「個人の尊重、プライバシーを守り、適切な介護を行い、適切な医療が受けられるよう援助し、地域住民の一員として地域との交流を持ちながら社会生活を営めるよう支援する」という事業所理念を事務所前に掲示し、「ゆっくり一緒に 楽しく」をスローガンに職員に浸透、共有し、実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月に1回の地域のボランティア様によるイベントや併設しているなごみの里の夏祭りなどにも参加して頂き交流に努めております。(イベントに於いては3月より開催自粛中です)	法人主催の夏祭りには、利用者・家族、地域住民も参加し、幅広い交流がある。中学生の参加もあり、ソーラン節を踊ったりしている。また、月に1回のボランティアによる楽器演奏やカラオケ教室、ヨガ教室が開催されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域貢献のために、認知症実践者研修、認知症リーダー研修など積極的に受講し、認知症の理解を全職員が身に着けることが今後の課題です。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所内の活動の報告、家族様からの要望や意見を毎回伺い、地域包括の方からの地域での情報を共有、そこでの情報を職員に伝達し、サービスの向上に活かしております。	奇数月の午後1時から民生委員、地域包括支援センター職員、利用者・家族、事業所職員が参加し、活動報告、新型コロナウイルス感染予防対策、入居者の状況報告と参加者からの意見・要望を聞き、運営に生かしている。	議事録には会議での意見・要望を具体的に記載し、事務所前に開示し、家族に送付することが望ましい。知見者や同業者の参加などより多くのメンバーによる会議開催を期待する。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	困難事例などに関して、電話での問い合わせにて応じて頂いたり、市役所に出向き尋ねたりしております。	地域包括支援センターとは運営推進会議で2か月ごとに情報共有し、空室相談等の協力もある。市の福祉指導監査課には避難確保計画、骨折・転倒等の提出物を持参したり、ホームページを確認し情報を得て、電話での問い合わせやアドバイスを得るなど良好な関係を築いている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の鍵の施錠、スピーチロックなども身体拘束になる事を理解の上、入居者様のペースで生活できるよう努めております。	「身体拘束適正化のための指針」は法人が作成しており、身体拘束適正化委員会も法人と合同開催で毎月行っている。事例に基づいた対応を話し合いながら研修も行っている。玄関は開錠してチャイムを使用している。居室内での安全を考慮し、家族の了解のもと、利用者4名は人感センサーを取り付けている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者、職員は高齢者虐待について学ぶ機会を設け、理解を深め、ご相談にいられた家族様にも、在宅での様子や、ご家族様の精神状態を出来るだけ理解できるよう努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関して学ぶ機会を持ち、活用できるように周知も図っております。また、問い合わせがあれば、地域包括支援センターへの紹介なども行っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に際には、十分な説明を行い不明な点などは丁寧に聞き取るよう努めております。料金改正の際には、説明を行い、同意書を頂くようにしております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時にはご家族様と多くコミュニケーションを図らせて頂き、日々の様子を細かく報告し、毎月のお便りでも報告しております。ご家族様の意見を全職員と共有し、より良い支援ができる様努めております。	玄関に意見箱を設置している。家族の来訪の際には必ず声掛けし、利用者の状況を説明し、意見を聞くようにしている。職員は申し送りノートにより情報共有している。コロナ禍による面会自粛をサポートするため、写真付きの手紙を出したり、動画を送ったりしている。家族からの返信もあり、利用者・家族の意向に沿った支援をしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回のスタッフ会議にて全職員からの意見を述べる機会を設けております。また、日々の業務の中でも、常に職員の意見や意思を伝え、支援に繋げられるよう努めております。	月1回のスタッフ会議には、管理者、なごみの里理事長をはじめ全職員が参加し、参加できない職員にも意見を聞き出している。食事形態の相談をしたり、排泄の際の無駄のないパッドの使用について話し合うなど、管理者、職員が連携して利用者本位の支援へと繋げている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、経営会議や理事長会議の場で現場の意見を吸い上げるよう努力をしております。また、管理者は、無理のない勤務体制に努め、職員の意見を反映できるように努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修や外部研修にもできるだけ参加し、知識を身に着ける機会を設けています。日々の支援においては、その都度指導・伝達してまいります。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内外勉強会等に参加し、同業者との交流を図り、サービスの質の向上に努めております。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりを努めている	入居前の訪問や聞き取りを丁寧に行い、抱えられている不安や課題を出来る限り理解出来る様努めております。また、入居前に施設へ足を運んで頂き、入居前に施設の雰囲気を知って頂き、入所後に少しでも安心して頂けるよう努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談に来られた際や、入居時の面談などで不安な事や希望などを丁寧に伺い、職員全員で検討し、安心して頂けるような支援ができるよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス導入の時点で、本人様やご家族様の希望や課題を聞き取り、しっかり話し合い、支援できるよう努めております。また、ご家族様の希望にあったサービス利用も促しております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常に介護させて頂いているという姿勢を崩さず、本人様のペースでできることは手伝って頂き、対等な関係で関わり、いい距離間で接していけるよう支援しております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月写真付きのお便りを家族様にお送りし、日々のご様子を細かく記載し安心できるよう努めております。また、自宅外泊を希望されるご家族様には、特に夜間の様子など詳しく説明させて頂き、入居者様・ご家族様が安心して過ごされるよう努めております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話等の要望があれば、出来る限り実現出来る様努めております。また、入居の際には、自宅で使用されていた私物をお持ち頂き、少しでも普段とお変わらない生活が送れるように支援しております。	入居時、利用者・家族と面談し、利用者の生活歴全般を聞き、フェイスシートに記録し、職員と情報を共有している。友人の訪問の際には、居室に通しお茶の用意をして話しやすいよう配慮している。家族とは外泊や外食、馴染みの美容院に出かける利用者もいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様それぞれの個性をしっかり把握し、時には間に入りながら、楽しく日々を過ごして頂ける様努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	移り住む先の関係者への情報提供を正確に行うと共に、契約終了後も、イベントの等に参加にお誘いし、気軽に立ち寄って頂ける様な雰囲気作りに努めております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	まずは、ご本人様の意向を伺いご家族様にも確認し把握に努めております。また、困難な場合は、ご本人様と積極的にコミュニケーションを図らせて頂き、表情や反応などで少しでも把握できるよう努めております。	家族からの聞き取りをはじめ、何気ない日常の中での発見や利用者の表情を見逃さないよう心掛けている。以前から事業所にあった卓球の道具を利用者に渡したところ、「昔やってた」と盛り上がり、今では他の利用者も一緒に楽しみながらの日課になっている。把握した内容は申し送りノートに記録している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様や担当ケアマネージャー、利用先のデイサービスの職員からしっかり情報収集し、生活歴や生活環境の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のコミュニケーションの中で、表情や声のトーンなどで精神的な部分を把握できるよう努め、毎日のバイタルチェックや食事・水分の摂取量の記録、前日の睡眠などの情報のもと無理のないようできる事はして頂くよう支援しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	必要に応じて随時モニタリングや話し合いの場を設け、意見を出し合い検討しております。また、ご家族様の意向も伺い、その都度本人様に合った方法を検討しております。	短期計画は6か月ごと、長期計画は1年ごとに作成しているが、ケアプランのチェックは全職員が回覧し、毎日行っている。月1回のスタッフ会議でも話し合い、計画作成担当者、管理者、職員(居室担当)でサービス担当者会議を開き見直している。家族には来訪時(または郵送)説明し、同意を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のカルテ記入や申し送りノートでの記録により、職員間の情報共有に努め、スタッフ会議の場では職員から意見を聞き、見直しに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	体調管理のため、月2回の往診や認知症予防の精神リハビリ体操、回想法などを取り入れた生活リハビリを行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティア様の受け入れや近隣商店の方に買い物の協力体制などお願いしている。現在は買い物はできていません。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族様の希望を優先し、従来からのかかりつけ医への継続的な受診ができる様支援しております。また、協力病院をかかりつけとする場合は、ご家族様の同意と納得を得て受診している。ご家族様希望により往診時に主治医に質問できるような機会も設けております。	利用者・家族の希望するかかりつけ医としているが、現在は全員が協力医院の内科(月2回)の往診を受けている。歯科は希望者の往診体制となっているが受けている人はいない。他の専門医の受診や治療が必要な時は随時ホームが同行支援を行っている。週1回の常駐の看護師による健康チェックも適切に行われている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設のなごみの里の医師、看護師または、訪問看護師と連携を図り、必要に応じて指示や処置が受けられる体制を作っております。また、必要に応じてかかりつけ医に相談、受診しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院の際は、入院手続きにご家族様と一緒に同席し、病院関係者への正確な情報提供に努めております。また、入院中は病院関係者とこまめに連絡を取り合い、状態の確認・把握を行い、早期に退院できるよう情報交換や相談に努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合は、ご家族様の意向を確認し、主治医、協力病院などと協議の上、事業所としてできる範囲のことをその都度明示し、話し合い支援の方向を決めております。また、こまめに状態の報告・共有に努めております。	入居時に「重度化及び看取りについての同意書」で説明し、同意書を交している。身体状況変化時に「看取りに関する考え方と重度化した場合における対応に係る指針」「看取り介護の同意書」と主治医からの説明で、利用者・家族の意向を確認し方針を統一している。ホーム開設以来、事業母体の医療機関で終末期を迎える人が多い。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年1回の救命処置、AEDの使用方法などの研修を受けております。事務所には緊急時な対応マニュアルを常備し、すぐに対応できるよう努めております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練(日勤帯・夜間帯)の訓練を行っております。また、災害時に備えて備蓄食3日分常備しております。	日中・夜間想定防災訓練を年2回実施している。緊急連絡網や自動火災通報装置と備蓄(おかゆ・水・缶詰)を整備し、同敷地内の系列施設(老人保健施設)に自家発電装置があり、停電時の対応には万全な環境となっている。地域住民の協力は地域性もあり難しいが系列施設と連携を取っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊厳を守る大切さを理解し、尊厳を損ねない対応を心掛けております。日々の支援の中で声掛けには特に気を配っております。	運営方針にて“家庭的な環境の中で尊厳ある日常生活が営む事が出来るよう、意見と人格を尊重し常に本人の立場に立ったケアを心掛ける”としている。言葉かけを大切に、接遇に注意を払い入浴・排泄時には羞恥心への気配りや、プライバシーを損ねないように留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の関わりの中で、思いや願いを表に出しやすい関わりや声掛けを心がけております。出来る限り本人様の希望に沿えるよう努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	集団生活においても、本人様のペースを崩すことなく、ゆっくり時間をかけて話を傾聴し、希望に沿った支援に努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	できる方にはご自身で服を選んでも頂いたり、朝の整容ケアなどして頂いております。散髪の際もどのような髪形にしたいのかをお伺いし、本人様の希望を尊重しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	施設前にて季節の野菜を作っており、収穫した野菜にて食事作りやおやつ作りを開催して、達成感や満足感を味わって頂けるよう支援しております。	系列施設の厨房から委託業者の栄養管理された食事を摂っている。職員は見守りと食事介助に徹し、毎食の検食を記録して食事状態を掴んでいる。行事食に好みを取り入れ、毎月1回の手作りおやつは職員と共に作り楽しんでいる。利用者は簡単な盛り付けやテーブル拭きに参加し、ホーム玄関前にある菜園の野菜が食卓に上がる時もある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設のなごみの里の管理栄養士による栄養価計算、食事摂取量の記録、1日に水分量のチェックを行っております。また、自己摂取可能な方には、夜間帯ペットボトルにお茶を入れてお渡ししております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	職員は口腔ケアの重要性を理解し、毎食後それぞれのレベルに合わせた口腔ケアを行っています。歯ブラシが使用できない方には口腔ケアティッシュなどを活用しております。夜間帯は義歯の消毒を行っております。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自尊心を傷つけない声掛けや支援に努めております。また、出来るだけトイレにて排泄ができるよう排泄パターンを把握し、声掛けを行うよう支援しております。	日中はオムツ使用者(3名)以外排泄パターンを把握して、事前の声かけや誘導でトイレでの自然排泄の支援に努めている。夜間はポータブルトイレ(1名)とオムツ使用者(5名)となり、3時間毎の見回り時に交換し、清潔保持と皮膚トラブル防止を心掛け、個々に合ったパット使用で負担軽減に留意している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因を検討し、予防や工夫に努めています。水分強化、ヨーグルトやミックスジュースなどを提供しております。また、それぞれの排便パターンや状態を把握し、主治医に報告・相談し、服薬調整しております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人ひとりゆっくり入浴して頂いております。曜日は決まっているものの、本人様の体調や気分に合わせて、その都度変更し、本人様のタイミングに合わせて入浴して頂いております。	一人ひとりの体調や気分に応じて、午前・午後の時間帯や回数は柔軟な対応で入浴支援を行っている。2方向介助可能な浴槽とゆったりとした浴室で、入浴剤を使用して変化を楽しみ入浴している。介護度が高くなり入浴が難しくなった人は隣接の老健施設の機械浴槽で対応し、気持ちよく入浴できるよう支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	健康管理を図るため、昼食後1時間程お部屋にて休んで頂く時間を設けています。夜間も良眠して頂けるように寝る前の時間はココアやホットミルクなどを提供しゆっくり過ごして頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は服薬内容を把握し、副作用による体調の変化を観察し医師への情報提供に努めております。服薬ミスがないよう細かいチェックリストを作成し誤薬防止に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの能力を活かし個別に支援しています。(カラオケ、散歩、歌、塗り絵、卓球、野球 等)気分転換を図って頂いております。毎月1回のイベント(4月より自粛中)などにて楽しめる様支援しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	法事や結婚式など本人様やご家族様の希望があった際は、スムーズに外出できるよう努めていおります。日常的な散歩や買い物(近くのお店)などは本人様の希望で外出支援を行っております。	日常の外出はホーム周辺や隣接のコンビニへ買い物に出かけている。桜の花見の時期は桜並木がある所へ遠出し、初詣では車で出かけている。ホーム玄関前の菜園や花壇に水やりや草取りをして、外気浴や季節感を味わっている。外食・外泊を家族同行で楽しんでいる人もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人様の希望があれば、所持金を管理して頂いたり、必要に応じて事務所での管理も行っております。基本的には預らせて頂いていますが、買い物などの支払いの際は、職員付き添いのもと本人様にお支払をして頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人様の希望のより、家族様へ電話やお手紙など必要に応じて個別に対応しております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには季節に合った飾り付けを行います。リビングには季節に合った飾り付けを行います。	居間兼・食堂のテーブルは利用者間の関係性に配慮し、個別で寛げるソファの設置や、壁面に季節の手作り作品・行事写真を飾り、温かい家庭的な雰囲気となっている。温度・湿度・換気の管理やコロナ対策の細やかな消毒を施し、廊下・トイレ・浴室・リビング等の共有部分は清掃が行き届いている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファを置き、入居者様の気分に合わせて自由に利用頂けるようにしております。また、座るお席も入居者様ひとり一人の性格を配慮し、その都度お席を変更して頂いたり、居心地の良い空間となる様努めております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはできる限り、個々の馴染みの物を置いて頂いたり、出窓には家族の写真や本人様の私物などを飾っております。また、CDカセットを設置し、昭和の歌や本人様が聞きたい歌を流し、リラックスして頂けるよう配慮しております。	居室ドアに表札がある。個々の好みの折り紙やフラワーアレンジをしたミニ額を飾り、馴染みのタンス・小物・写真を持ち込み、その人らしい居心地良い居室となっている。ベッド・エアコン・洗面台・防災カーテンと袋戸棚がついている広い収納スペースが設置され、快適でしやすい仕様となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室、トイレなどはさりげなく声掛け付き添い行い、ご案内しています。居室での本人様の動線を把握し、動線上に危険なものがないよう配慮し、事故のないよう努めております。		